

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書
HUSA (Hiroshima University Study Abroad) Program Report

記入日/Date		年月日(YYYY/MM/DD)
本学での所属学部・研究科 School/Graduate School at HU	教育 School/Graduate School	学部/研究科 3 年次(Year) (留学開始時点(When Started))
派遣プログラム Name of Program	<input checked="" type="checkbox"/> HUSA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP	
留学先大学 Host University	シェフィールド大学 (国名/Country: イギリス)	
所属学部・学科等名 School/Graduate School at Host	教育学部第3類英語文化系コース	
在籍身分 Status at Host University	Exchange student (ex. Exchange Student, Special Auditing Student)	
留学期間 Period of Program	2022年 9月 20日 ~ 2023年 2月 4日 (YYYY/MM/DD)	

1. 留学するまで / Preparation for the Program

留学への志望動機・ 派遣先大学を希望した理由 Purpose of Study / Reason of Host Choice	それまで海外に行った経験が無く、大学生のうちに留学に挑戦したいと思っていたから。将来英語教員になりたいので、英語圏で言語を学習したり文化に触れたりしたいと思い、イギリスを選び、中でも治安の良いと聞いていたシェフィールドに行くことにした。
留学準備を始めた時期（応募する 何か月前ですか？） Commencement of Preparation for Application	IELTS を受ける必要があったので、その勉強を1年生の秋（1年3か月前）に開始し、その冬（1年前）に受験したが、目標点に達しなかったため、2年生の冬（1か月前）に受け直した。
事前準備について（どのような準備 をしたか、しておけばよかったか） Preparation Completed Prior to Study Abroad	イギリス特有のアクセントが強い先生の授業は、最初の数週間聞き取るのにとても苦労したし、そうでなくとも1・2時間の授業を集中して聞くのはとても難しかったので、レクチャーの動画を見て授業の練習をしておけばよかった。また、特に最近ではイギリスで電車のストライキが頻繁なので、渡航する日に電車を使うのであれば、その日の運行状況をしっかりと確かめておくことを強くおすすめする。

2. 渡航について / Visa and Flight Information

ビザについて Visa	ビザの種類 / Visa Type : 観光ビザ
	ビザ申請先 / Location of Visa Application :
	提出書類 / Required Documents :
	手続きに要した日数 / Duration of Visa Application Process :
その他必要な事前手続き Other Required Procedures	
出国年月日 / Date of Departure	2022年 9月 19日 (YYYY/MM/DD)
経路（往路） / Route (Outward)	広島空港→羽田空港 成田国際空港→ハマド国際空港（カタール）→マンチェスター空港→電車でシェフィールドへ
現地での出迎え Pick-up Service	<input type="checkbox"/> 有/Yes（大学関係者/Univ. Staff ・ その他/Others） <input checked="" type="checkbox"/> 無/No
到着後オリエンテーションの有	<input checked="" type="checkbox"/> 有 有の場合 期間/Period : 9/21 - 9/25

無・期間・内容 Orientation, Period, Contents	/Yes <input type="checkbox"/> 無/No	(If Yes) 内容/ Indicate Content Covered during Orientation 履修登録やサークルの勧誘など
帰国年月日 / Date of Return	2023年 2月 5日 (YYYY/MM/DD)	
経路(復路) / Route (Return)	マンチェスター空港→ハマド国際空港(カタール)→成田国際空港 羽田空港→広島空港	

3. 留学費用について / Expenses

文 書 額 / E x p e n s e s	総額 Total Amount		132万	円/yen	
	内 訳 D e t a i l s	渡航費(往復) / Flight Ticket (Round Trip)		250,161	円/yen
		ビザ申請手数料/ Visa Application Charge		0	円/yen
		予防接種費用 / Immunization Charge		0	円/yen
		保険料 / Travel Insurance		42,460	円/yen
		教材費(授業料以外の学費) / Learning Material (Extra Tuition Fee)		0	円/yen
		宿舍費(住居費) / Accommodation Fee		470,000	円/yen
		光熱費 / Utility Cost		0	円/yen
		食費 / Meal Cost		100,000	円/yen
		通信費(インターネット・携帯) / Internet, Phone		1,5000	円/yen
		交通費(宿舍～大学間) / Transportation (Accommodation ~ Univ, Campus)		0	円/yen
		交際費 / Social Expenses		150,000	円/yen
		その他 / Others (旅行・お土産 費) (費) (費)		300,000	円/yen 円/yen 円/yen

4. 授業・修学について / Courses and Study

授業の概要について(カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等) / Brief Description of Courses (Curriculum, Program, Registered Courses, Study Hours, Course Style)	学科:East Asian Studies 授業①Japanese Contemporary Society (講義1時間+セミナー1時間) ②Introduction to Sociology of Education (講義2時間) ③ELTC Speaking and Listening (オンライン教材3時間分+講義2時間) ④ELTC Contemporary Literature (オンライン教材3時間分+講義2時間)
単位互換希望の有無 / Credit Transfer from Host to Home University	<input type="checkbox"/> 有/Yes <input checked="" type="checkbox"/> 無/No
授業・勉強についてのアドバイス(留学前の履修、留学中、単位取得等) / Advice for Class and Study (Before and During Study Abroad)	学部関係なく、興味のある授業を履修することができる点がよかった。語学学習を目的とする授業は、各国からの留学生が来ており、お互い刺激し合いながら高め合っている印象であった。それ以外のアカデミックな授業は、一つの授業につき、毎週複数の論文を課題として読む必要があり、とても時間と根気を要した。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦(ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など) / Difficulties and Challenges Faced in Classes Different	1つの授業でも、講義とセミナー(ディスカッション形式の授業)が別の曜日にあった。セミナーは、他の学生が積極的に議論を交わす中、なかなかついていけず焦ることもあったが、一回に一言は発言しようという目標を立てて一回一回頑張った。また、普段から先生と生徒の距離が近いことが印象的

from Japan (Teaching Style, Relationship with Professors/Lecturers)	で、どんな質問にもとても快く答えてくださったので、その点安心して授業を受けることができていた。
---	---

5. 生活等について / Lifestyle		
(1) 留学先の住居について / Accommodation		
住居の種類 Type of Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 / University Dormitory <input type="checkbox"/> アパート / Apartment <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
住居の広さ Size of the Room	約/approximately m ²	同居人の有無 Roommate(s)? <input checked="" type="checkbox"/> 有 / Yes (6 人/People) (キッチンのみ共有) <input type="checkbox"/> 無 / No
住居に附属する設備 Facilities in Accommodation	<input checked="" type="checkbox"/> 電気/ Electricity <input type="checkbox"/> ガス/ Gas <input checked="" type="checkbox"/> 水道/ Water <input checked="" type="checkbox"/> 給湯/ Hot Water <input checked="" type="checkbox"/> シャワー/ Shower <input type="checkbox"/> 風呂/ Bathtub <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所/ Flushable Toilet <input checked="" type="checkbox"/> 暖房/ Heating <input type="checkbox"/> 冷房/ Cooling <input checked="" type="checkbox"/> 台 所/ Kitchen <input type="checkbox"/> 食堂/ Dining Room <input type="checkbox"/> 固定電話/ Land-Line Phone <input checked="" type="checkbox"/> インターネット/ Internet <input type="checkbox"/> その他/ Others ()	
住居費 Accommodation Fee	1ヶ月当たり/ per month 581 ポンド (現地通貨/ local currency)	約/ approximately 94,000 円/yen
留学先での住居全般に関するアドバイス Accommodation Advice	設備に不足は無いが、フラットメイトの振り分けによって、寮生活が大きく異なると感じる。私は、文化の違いは感じつつも、特別ルールを定めずともキッチンは綺麗に保たれ、快く生活を送ることができた。知り合いの中には、お皿をいつまでも溜め込むフラットメイトがいる人や、フラットメイト全員が日本人だったという人もいたので、運次第に感じる。寮の申し込みの際に、男女別のフラットがよいのか、混合でもよいのかということは選択することができた。	
(2) 医療について / Medical Care		
保険の加入先 Insurance (Who Designated)	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 / Hiroshima University <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 / Host University <input type="checkbox"/> その他 / Others ()	
保険の補償内容 Insurance Coverage	補償額 / Coverage 死亡 / Death 10,000,000 円 / yen, 入院1日 / per day of Hospitalization 円 / yen その他 / Others (治療・救済費用 100,000,000 円)	
留学前後での予防接種の必要の有無 Immunization Requirement	<input type="checkbox"/> 有 / Yes (種類 /Acquired Immunizations : , 医療機関名 / Location of Immunization :) <input checked="" type="checkbox"/> 無 / No	
留学先国の医療事情 (日本と比較して) Difference in Medical Service (Compared to Japan)	一度も医者にかからなかったため、不明であった。NHS(National Health Service) は無料で診察をしてもらえる一方、とても混雑すると聞いた。帰国時に、日本入国条件を満たすためのPCR検査は、プライベートのクリニックで行ったが、60ポンド~150ポンドと、とても高額だった。	

<p>留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと</p> <p>Healthcare and Hygiene</p>	<p>日本よりもはるかに早く本格的な冬が来るので、早め早めに防寒対策をしておく方が良いと思う。</p>
<p>(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと</p> <p>/ Dangerous Situations and Locations Encountered, Possible Advice for Risk Management</p>	
<p>大学周辺は、夜でも意見を感じたことはなく、24 時間開館の図書館があることもあり、女性もよく夜中に一人で歩いていた。市街の方へ歩出ると、夜は酔っ払いや喧嘩している人がうろろろして、少し怖かった。また、ホームレスは、怖くは無いが、道を歩いていたら、よく話しかけてきてお金を要求してきたので、最初はびっくりした。</p>	
<p>(4) 食生活についてのアドバイス / Food – Related Advice</p>	
<p>イギリスのご飯はあまりおいしくない聞いていたが、外食でおいしくないと思うものに出会ったことはなかった。スーパーでも、野菜や果物が安かったり、たくさんの種類のパンやチーズが揃ってあったりして、自炊も楽しく行うことができた。日本食が恋しくなれば、近くのアジアンスーパーで求めることができるが、非常に割高なので、軽くてスペースをとらないもの（パスタソースなど）は日本から持っていくことがおすすめ。</p>	
<p>(5) 気候・服装についてのアドバイス / Advice on Local Climate and Clothing</p>	
<p>留学開始の九月中旬は、イギリスは本格的な秋が到来していて、到着 1 週間もすると、ニットを着るのが丁度よい気候となった。日本では、荷造りの際、ニットなど考えられない暑さだったが、スーツケースに T シャツをたくさん入れるより、薄手のニットを入れた方が、着いてから役に立つと思う。また、ヒートテックは非常に重宝したが、洗濯が 5 日に 1 回程度なので（1 回あたり洗濯機 3、3 ポンド＋乾燥機 1.9 ポンドかかるため）5 枚程度持っているとうれしかった。</p>	
<p>(6) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）</p> <p>/ Available Resources (Library, Cafeteria, Campus Wi-Fi, etc.)</p>	
<p>学校内は、統一された Wi-Fi が設置されていて、何一つ困ることないインターネット環境が整備されていた。寮の Wi-Fi も十分強く、困ることはなかった。携帯にはプリペイドの SIM カードを入れて使っていた。慣れない土地で地図機能を使うことを考えると、多くのデータ量が入った SIM カード（私は 1 か月 15 ギガのものを使っていた）が便利。アマゾンでも購入が可能なそうなので、出国前に SIM カードを入れてから行くと、安心だと思う。</p> <p>学校の施設は、24 時間開いている図書館や、勉強スペースのダイヤモンドと呼ばれる建物など充実していた。また、チューデント・ユニオンでは、無料の様々なイベントや、格安の旅行が提供されており、学校生活を楽しいものにした。</p>	
<p>(7) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）</p> <p>/ Communication with Local Students and People (Available Opportunities?)</p>	
<p>Society と呼ばれるサークル活動のようなものが普及しており、入るハードルも低いので、現地学生も留学生もほとんど全員が何かしらの Society に入っていた。私は Japan Society と Card Gaming Society(トランプサークル)に入っていたが、特に Japan Society は、日本好きの現地学生との交流が盛んで、友達を作るのに良い場所だった。その他には、同じ授業を履修している人と初回で話したりして、友達になっていった。</p>	
<p>(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと / Care and Attention regarding Customs and Manners</p>	
<p>現地学生・留学生ともに本当に多種多様なバックグラウンドを持った人が集まっていた。現在自分が持っている価値観だけを基準にして、物事を断定的に話すのは誰かの信条や文化を傷つけが得ると感じた。相手を受け入れ尊重する姿勢が大切だと思う。</p>	
<p>(9) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの / What Should You Bring? What Should You NOT Bring?</p>	
<p>持っていくべきもの：薬、お土産となるお菓子など、洗剤や化粧水など（顔に付けるものは日本から持っていくと安心だった）</p> <p>持っていくべきでないもの：本は重くて帰国時に頭を悩ますので必要最低限がおすすめ。シャンプーなどの生活用品は現地に十分取り揃えてある。</p>	
<p>(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス / Other Useful Information and Advice about Life Abroad</p>	

メンター制度と呼ばれる、現地学生が留学生のお世話をしてくれる制度があり、留学合格後の準備段階で申し込めるのでおすすめ。大学の施設や生活などについて親切に教えてくれた。

6. 帰国後の進路について / Your Career After Study Abroad

卒業予定年月 Expected Graduation Month and Year	2024 年 / year 3 月 / month (当初の卒業予定年月 / Expected Month and Year before Studying Abroad 2024 年 / year 3 月 / month)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由 Reason for Extension of Graduation Month and Year?	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため / Participation in HUSA during 4th Year <input type="checkbox"/> 単位不足のため / Amount of Credits <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため / In order to graduate as a "new" graduate <input type="checkbox"/> その他 / Others (具体的に / Specific reason:)
現在の状況および今後の 予定・進路等 Current Situation, Plan and Career	地元で教採を受ける予定。
就職活動や留学前の単位 取得、教育実習等について の工夫 Pre-arrangement by yourself for your future job hunting, acquisition of credits of required courses and practicum, etc.	9月19日の出国だったが、直前の16日まで教育実習をしていた。あまりに直前なので教育実習をその年にするか、遅らせるか迷った。しかし、早め早めに留学準備をしていればそこまでバタバタしなかった(ビザ申請が必要なかったことも大きい)ので、教育実習をカリキュラム通りに終了できてよかったと思う。

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 / Useful Books and Website for Study and Life Abroad

書籍、サイト名 Name of Book or Website	詳細(出版社、URL等) Details (Publisher, URL etc.)	コメント Comments

8. 後輩へのメッセージ / Message for Outgoing Students who Desire to Study Abroad

留学以前は海外に出たことも無かったので、イギリスへ一人で旅立つのはとても勇気がいりましたが、帰国した今、留学という経験ができて良かったと強く思っています。留学準備において大変なこともあるかと思いますが、必ず未来の自分に生きてくると思うので頑張ってください！応援しています。

9. 自由記述（日本語・1,200字程度） / Feedback (English about 600 words)

・以下の点を踏まえ、記述して下さい。 / Please give your feedback including the following points:

初めての留学、ましてや初めての海外だった私が、マンチェスター空港に着いて一番に感じたのは、「本当に海外ってあったんだ!」という感動でした。そこから始まった5か月間は、楽しい、嬉しい、うまくいなくて悔しいなど、毎日感情が忙しく動く充実したものでした。勉強面と生活面の両方で日々新たな発見があり、刺激を受けながら過ごしました。授業では、まず先生の話されることを聞き取ることと、毎週出される大量の論文を読む課題に大変苦労しました。しかし、周囲の友達や、先生に助けをもらいながら、また周りの勉強熱心な学生に刺激されながら、なんとか乗り越えることができました。特にディスカッション形式の授業では、周りの学生との差を突き付けられたり、言いたいことをうまく言えなかったりで、悔しい思いをし、もう行きたくないと思うこともありましたが、それでも休むことなく出席し続けたことが、今漠然とした自信になっています。生活面では、たくさんの国籍の友達ができ、それぞれの人の考え方や、常識が自分にとっては新鮮で、一人一人に自分の世界を広げてもらった感覚です。毎日過ごす中では、自分が成長しているのかが分からず、焦ることも多々ありましたが、そのような時は、先輩が書かれた留学体験記を読んでやるべきことを考えていました。今振り返ると、イギリスで暮らすだけでかけがえのない財産であり、自分も気づかないうちに英語も精神面も成長できたのではないかと思います。

留学中に特に印象に残ったのは、現地学生の友達が、クリスマスにご実家に招待してくれ、5日間ステイしながら現地のクリスマスを経験させてもらったことです。みんなで食卓を囲んでのサンデーロースト、盛り上がるクラッカー割、大量のプレゼント交換など、情報としてしか知らなかったクリスマスを実際に体験することができ、本当に嬉しかったです。また、イギリスはヨーロッパ諸国への旅行も行きやすく、私はドイツとスイスへ行くことができました。各国それぞれに特徴があり、イギリスともまた異なる雰囲気や料理を楽しむことができたり、街ゆく人々の英語力に驚かされたり、大変刺激を受けました。特に、ドイツのエコに対する姿勢は想像以上で、興味深かったです。

私は、将来英語教員になるつもりなので、イギリスで日々生活する中で身に付けた英語力を授業をするうえで生かすとともに、自分が体験したイギリスなどの文化や生活の様子を生徒に伝えることで、生徒に英語を学び世界を見たいと思ってもらいたいです。

最後に、私は留学へ行くまでは、自分に留学ができるのか不安でいっぱい、たくさん迷いましたが、帰国して1週間程度経った今、イギリスでの5か月間がいかに貴重で、大きな財産になったのかを実感しています。本当にチャレンジしてよかったと思うとともに、留学を後押ししてくださった人や、留学中での出会い、支えてくださった人に感謝の気持ちでいっぱいです。

